

令和3年度 日本遺産「候補地域」の認定について

【概要】

富津市と鋸南町は、地域の活性化を図ることを目的に、鋸山の鋸南町側の日本寺を中心に展開する仏教関連遺跡等と、富津市側に残る石切り場跡としての産業遺跡とを一体化させて、鋸山を舞台に華開いた歴史や芸術文化の「日本遺産」認定を目指して、令和元年度に「鋸山」日本遺産認定推進協議会を設立し、官民一体となって申請に向けて取り組んできました。令和2年1月には文化庁へ申請書を提出しておりましたが、日本遺産認定の最終年度とされた令和2年度中の認定はかないませんでした。

令和2年度の認定をもって、文化庁が掲げていた全国で100件程度とする日本遺産の目的数は達成されましたが、新規認定を目指す地域を「候補地域」とする制度が新たに設けられました。令和3年3月24日にあらためて文化庁へ申請書を提出し、このたび、「候補地域」に認定されました。

【内容】

○タイトル

天空の岩山が生んだ信仰と産業 ～房州石の山・名勝地鋸山は自然と歴史のミュージアム～

○ストーリーの概要

東京湾口に面した富津市と鋸南町にまたがる山は、境界となるその稜線の姿から鋸山と呼ばれる。ロープウェイで山頂に向かうと、巨大な直壁とそこに掘りこまれた大空間の連なりが迫ってくる。降り立つとまるで異郷に迷い込んだかのような、そこは石切り場だったのだ。そして、山頂の崖っぷちからの身震いするほどスリリングな絶景。緑に覆われた北麓には一連の採石産業遺構が、南麓には巨大な磨崖仏や奇岩に配された羅漢石像群を擁する古刹の境内が広がる。日

本の近代化を基礎から支えた房州石の山は、自然と歴史、聖俗を融合した、石と芸術の博物館なのだ。

○構成文化財

構成市町	構成文化財数
富津市	22
鋸南町	18
両市町に関係	8
計	48



【地獄のぞき】

○認定までの経過等

令和3年3月24日（水）

日本遺産「候補地域」認定申請

令和3年7月16日（金）

日本遺産「候補地域」認定発表

○令和3年度「候補地域」申請及び認定の概要

申請件数：20件

認定件数：3件



【千五百羅漢】

○今後の取り組み等について

日本遺産「候補地域」認定後は、文化庁の支援を受けながら、日本遺産「候補地域」の資源を活かした地域活性化事業に取り組んでいくこととなります。

事業を実施するには、行政のみならず、文化財審議会、地元観光協会、観光業者等、官民が一体となり地域全体で取り組んでいく体制の整備が不可欠です。

今後は、（仮称）鋸山日本遺産候補地域活用推進協議会を設立し、両市町にまたがる「鋸山」を舞台に展開した、歴史・芸術・文化の特色や魅力を国内外に向けて最大限に発信していくための「情報発信」や「人材育成」等の事業に取り組んでいきます。そして、鋸南町と共同で3年間取り組みを行い、4年後の日本遺産認定を目指します。

問い合わせ先

富津市教育部生涯学習課

TEL：0439-80-1342